ありだし 社協 だより

あがらが主役　あがらが創る　あがらのまち

2026 11

Since2013 子どもたちがつなぐ未来への希望
福祉の種まきプロジェクト

小学校６年生児童代表が
毎号将来の夢を発信！
１０年後、成長した姿を
地域の皆さんに発信します！





保田小学校　６年生

将来の夢

箕島小学校　６年生





NEXT▶ 次号は、田鶴・糸我小学校から「夢」発信！

社協だよりは、「赤い羽根共同募金」配分金と
寄付つき商品事業「JUST」による寄付金の一部で発行させていただいています。

有田市社会福祉協議会
HP はこちら

4つの小学校区で さまざまな活動が始まっています！

小学校区地域福祉活動計画

第4次地域福祉活動計画の策定をきっかけに、市内７つの小学校区別に住民の話し合いの機会をつくり、校区の強みや課題について話し合ってきました。話し合いには、摂南大学上野山先生とゼミ生も協力してくれました。その結果、それぞれの小学校区でオリジナルの活動が生まれています。

まだまだ小学校区全体の活動とはなりませんが、有志の活動が少しずつ地域の中で広がっていくように社協は応援しています。

既に活動が始まっているのは、箕島・初島・保田・田鶴の４小学校区。今年度から話し合いを続けているのが、糸我・宮原・港の３小学校区です。今回は、状況報告を行います。

箕島 小学校区　ごちゃまぜ防災ラボ　みん・なび



昨年度「逃げ地図」に取り組んだメンバーを中心に、防災を日常的に話せ、障害のある方が地域の方と接する機会や学び合いを大切にしたいと考え、新たなチームが誕生しました。

オークワ箕島店さまのご協力により、毎月第3水曜日の午後に店舗内で「ごちゃまぜ防災ラボ　みん・なび」をスタート！毎月いろんな形で防災を学べる企画を実施していきます。箕島小学校区は範囲が広いので様々な方のご参加をお待ちしています。

初島 小学校区　ラジオ体操で避難訓練



子育て層や移住者たちがチーム「六桜花」を結成し、今夏スタートした「ラジオ体操で避難訓練」。ラジオ体操と防災を組み合わせることによって、子供達が楽しみながら地域住民と共に新しい形で夏の風物詩を残し、ふるさとへの愛着を強くしていきたいと活動しました。

対象となる小学校高学年の子どもたちは、2学期以降学校でも防災学習に本格的に取り組み、地域と学校が共に子どもたちのために進んでいます。

保田 小学校区　クリーンアップ大作戦



保田地区は「地域ふれあいサロン」の運営者たちがチームを組んで活動がスタートしています。保田の全地区にサロンを立ち上げたいという目標をもちつつ、サロン活動を入口に、他世代とつながって、地域のためにいろんな活動ができることを見てもらおうと考えられました。

中学生の通学路の誘導灯を定期的にきれいにしようと春と秋に活動。活動には中学生も参加してくれています。

田鶴 小学校区　各団体の交流と盆踊りの復活



田鶴小学校区では、宮崎公民館が主催する「井戸端会議」が毎月行われ、そちらにはさまざまな団体の方が参加されています。各団体の交流をより活発にしようと、お互いの活動に招待し合い、交流しています。

また、かつて地域で行われていた盆踊りを復活し、伝統をつなげたいという想いから、育友会や学校関係者、各団体みなさんの協力のもと、秋に小学校の運動会で盆踊りを実施することができました。

3つの小学校区で協議の場が続いています！

小学校区地域福祉活動計画

糸我 小学校区　若者の「やってみたい」を地域で応援！



糸我を愛する大学生からシニア世代まで、多世代のみなさんと話し合いました。そこで上がった声の１つが「糸我の子どもたちにはボランティア精神が根付いている。」ということ。大人が指示を出し、口を出すのではなく、若者が「自分たちで何をしたいか」を主体的に発信・挑戦できる環境をつくり、大人は全面的に協力・応援する体制をとりたいという思いが固まりました。会議に参加した20代の若者を中心に、「糸我若者ミーティング」の開催に向けてスタート！糸我の若者たちは地域に何を思い、地域で何をしたいのか。どうぞお楽しみに！

宮原 小学校区　時代を担う世代と共に動き出そう！



初回は、地域活動中の40・50代、子育て層の30・40代が活発に意見交流。地域には既に様々なイベントがあり活動に熱心な住民も多い、ゆったり子育てがしやすい、誇れる企業が複数あるなどの強みがでました。一方で、活動者の高年齢化、地域情報がうまく周知されていない、生活面では買い物の不便さなどが課題としてだされました。

２回目には、20代も参加してくれ、新設の「宮原コミュニティセンター」をきっかけに、次世代も一緒に動き出せることを考えていくことになりました。

港 小学校区　「港の魅力すごろく」をつくろう！



港にお住いで団体や個人でご活躍されている方を中心に話し合いをしました。１回目の話し合いでは「各団体の活動の見える化」と「港小学校区の強み・弱み」について話し合い、子どもの見守り、通学合宿や授業参観に地域団体も参加するなど、子どもとの交流機会が多いことが強みとしてでました。課題は、各団体活動が住民に見えていない等があげられました。

その後、何度か話し合いを重ね、「港の魅力をみんなに知ってもらいたい」ということで『港の魅力すごろく』をみんなでつくることになりました。

ボランティアフェスティバル2026

愛 であい ふれあい たすけあい

多世代のボランティアがスローガンをめざして運営します
たくさんのご来場を
ボランティアー同お待ちしています！

無料

11月21日（土）13：00～15：30

※ こども食堂のみ（にじいろこども会公式LINEで事前申込）
12時～13時

内容

オープニング演奏 13:00-13:15
ボランティアによる体験ブース
・フラワーアレンジメント
・防災クイズ　・お抹茶体験
・ボールペンづくり　・缶バッチづくり
絵本読み聞かせ 13:45-14:15
しゃぼん玉あそび 14:30-15:15
障害福祉事業所による出張販売
サロン　駄菓子屋体験（複合施設「辻本」）他

会場

MifroM 内 宮原コミュニティセンター
旧 宮原小学校跡地

※駐車場は、建物東側の道路沿いに入口があります。
※臨時駐車場　宮原小学校グラウンド
共催　有田市ボランティア連絡協議会
協力　有和中学校音楽部（オープニング演奏）
箕島高校地域活動部・摂南大学有田市FAL

ありだし社協だより 2026. 11
編集・発行　社会福祉法人　有田市社会福祉協議会／有田市ボランティアセンター
〒649-0432　有田市宮原町東 215 番地　有田市福祉館なごみ内
TEL　0737-88-2750　FAX　0737-88-2033
URL　https://aridashi-shakyo.jp/

受賞 おめでとうございます

本会の理事・評議員、事務局を担っている団体等から次の皆さまが受賞されました。

令和８年度和歌山県社会福祉功労者表彰

◆和歌山県知事感謝状

社会福祉団体役員功労者	冨永　和美　様	（有田市母子寡婦福祉連合会）
ボランティア功労者・団体	きれいにしようよ河川敷！実行委員会　様	

◆和歌山県社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員功労者	中井　宏幸　様	
民生委員・児童委員功労者	脇村　十月　様	

クリスマス お楽しみ会のお知らせ

プレゼントを用意しておまちしています！

日時　2026 12/25（金） 13:30 - 14:30

場所　初島公民館

内　容：みんなでケーキを食べたり、ゲームをしたりします！
対　象：ひとり親家庭（母子家庭・父子家庭）
参加費：無料
持ち物：なし
募集人数：先着 10 組



この事業は一部赤い羽根共同募金の配分金を受けて実施します。

有田市社会福祉協議会（有田市母子寡婦福祉連合会）
電話８８-２７５０　　申込締切　11/30（月）

心配ごと相談のご案内



お話しをお聴きして、必要な情報の提供、関係機関の紹介や連絡調整などをします。
ご希望があれば、相談員（民生委員）による対面相談も可能です。

なんでもご相談ください　窓口：電話　88-2750　受付：平日（年末年始をのぞく）8:30 ～ 17:15



災害ボランティアセンター 設置運営訓練

参加者募集

2026 12.5（土）　参加無料

1部　講座　13:30 - 14:30

「被災者に寄り添う災害VC運営」
講師　和歌山県災害福祉支援センター
災害福祉支援コーディネーター
南出　考　氏

2部　訓練　14:30 - 15:30

ボランティア受付から送り出しを体験
運営：災害VC運営スタッフ養成研修受講者
※　13時30分から受付開始
ICTを導入し、個人のスマホで受付を実施します

会　場
有田市福祉館なごみ
（有田市宮原町東215/有田市社協）

協　力
和歌山県社会福祉協議会
和歌山県災害福祉支援センター

申し込み
原則二次元バーコードから
お申込みください。

26訓練申込

お問合せ
有田市社会福祉協議会
0737-88-2750